

令和5年度 西倉吉保育園 事業計画

事業所名	西倉吉保育園
園長	伊藤 幸恵
実施事業	就学前保育、乳児保育、低年齢児保育、延長保育、障がい児保育、一時保育
開設年月日	昭和41年6月24日
所在地	鳥取県倉吉市西倉吉町2-23
正規職員（総合職）数	13名
正規職員（一般職）数	3名
準職員数	フルタイム：0名 パートタイム：2名
契約職員数	フルタイム：3名 パートタイム：3名
定員	80名
職員配置	園長 1名 園長補佐 1名 主任保育士 1名 副主任保育士 1名 保育士 15名 調理員 3名 事務員 1名 看護師 1名 計24名

1 基本方針

本園は、児童福祉法第39条の規定に基づき保育に欠ける子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。

児童福祉の理念を根幹とし、児童の最善の利益を願い、すべての職員が「保育所保育指針」（平成29年厚生労働省告示第117号）に依拠して保育に臨みます。

また、保護者から信頼され、地域から必要とされる保育所運営を目指して、常に努力研鑽します。

【保育精神】

愛と規律 真心の保育

【保育方針】

あかるく のびのび たくましく

【目指す子ども像】

- 健康な身体で意欲的に遊ぶ子ども
- 豊かな心を持ち、考えて行動する子ども
- 自分の思いを出し、友だちの思いも大切にする子ども
- きまりを守り、自分のことを自分でできる子ども
- すべての人や物事に感謝する子ども
- すべての「いのち」を大切にする子ども

2 運 営

(1) 保育需要への対処

- ① 乳児保育、障がい児保育、一時保育を行います。
- ② 開所時間の延長保育を実施します。

③ 保育園の行事等を保護者の方にオンラインで配信します。

(2) 主な保育計画

- ① 子ども一人ひとりの発達を理解し、適切な支援をします。
- ② 「保育指針」に掲げられた「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を考慮した保育計画を作成し、子どもの資質・能力を育みます。
- ③ 「食育」を行い、食を営む力の基礎を培います。
- ④ 「自然保育」を行い、自然や木と触れ合い親しむ活動を通して、人や物を大切に
にする心や命の尊さを養います。
- ⑤ 豊かな感性と表現の育ちの基礎を育み、コミュニケーション力を培います。
- ⑥ 3歳以上児は年間を通して、体操教室を行います。
- ⑦ 年長児は年間を通して、英語教室、お茶会を行うとともに高齢者施設、障がい者支援施設との交流を行います。
- ⑧ 地域の方々との交流を通して、地域を愛する心を育てます。
- ⑨ 特別に支援が必要な園児に対し個別の指導計画を立て、成長を援助します。

3 主な実施事業

(1) 施設・設備整備計画

園舎前駐車場ポストコーン設置	1 4 8 千円
遊戯室用運動遊具の購入	2 9 2 千円
園庭ブランコ後ろフェンス設置	6 2 7 千円
玄関前外灯取替	2 8 7 千円

(2) 事業活動

① 食育活動

「食育の日」として毎月1回、以上児・未満児に食育に関する知識を分かりやすく話し、年長児を中心に「さくら食堂」として、食材を包丁で切ることや、調理の様子を見ることで、食材への興味を育みます。

② 自然体験

地域の方々と一緒にさつまいもの苗植え、さつまいも掘り、田植え、稲刈りなどの農業体験を行います。また、「ロボ木一教室」を通して自然の大切さを学び、木とのふれあいを楽しむとともに、月に1回「のびいくデー」として園庭や園外散策で見つけた自然物にふれあいながら、雨、雪、虹などの様々な事象に興味や関心を持ち、考え、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにし、それらを生活に取り入れていこうとする力を養います。

③ 表現活動

リズム遊びやリトミック遊びで表現する楽しさの基礎を築きます。さらに、マーチングや合奏、劇遊びを通して、友だちと同じ目的に向かって励まし合いながらやり遂げることで、表現する楽しさを味わい、協同性や自己表現する力を養います。また、作品展を行い絵画や造形活動を通して、色彩や形などを自分なりの表現でのびのびと楽しむとともに、劇団や音楽家の方をお招きし、年間を通して本物に直接触れる機会を設け、感性を磨いていきます。

④ 英語教室

英語に親しむため、毎週木曜日、年長児を対象に、外部講師による英語教室を行います。

⑤ 体操教室

毎月1回、3歳以上児を対象に、外部講師の指導により、サーキット遊び・器械体操・組体操をすることによって、身体能力を養い、協調性を育みます。

⑥ 水泳指導

7～8月、年長児・年中児を対象に、外部講師による水泳指導を行い、水に親しむとともに、泳ぐ楽しみを体感していきます。

⑦ オープンデー

毎月第1第3火曜日、地域の未就園児との交流を図り、保護者同士の交流の場を提供するとともに、子育てに対する相談に応じます。また、月1回、専任の講師指導のもとベビーマッサージを行います。

⑧ 地域交流活動

地域の方々に、保育園の子どもたちの発表や交流でみなさんに元気なパワーを届け、子どもたちが地域の方に守られている大切な存在であることに気付くことができるように育成していきます。

⑨ 異年齢交流活動

月1回テーマを掲げ「にこにこデー」として、異年齢と交流しながら、子どもたちが自ら遊びを選び、工夫や想像する力を伸ばします。これにより、「仲間作り」「主体的に遊ぶ」「創造する力」「対話的な学び」「健康な身体」「満足感の達成」「自尊感情の芽生え」を育み、コミュニケーション力を培っていくことを目指します。

4 安全管理・衛生管理

(1) 保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態を踏まえつつ、保育園内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制作りを図るとともに、家庭や地域の諸機関の協力を得て安全指導を行います。

(2) 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備、用具等の衛生管理に努めます。

(3) 感染症の予防に努めるため、手洗い・うがいの励行、消毒殺菌及び衛生教育の徹底を図るとともに、調理室の衛生管理に努めます。

(4) 0歳児～2歳児の突然死を予防するため、SIDS（乳幼児突然死症候群）表によるチェックを徹底します。

(5) 新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指及び子どもの触れるものやおもちゃのアルコール消毒の徹底をし、三密を防ぎ、1時間に2回以上の換気を行うなど、常に感染予防に努め、感染拡大防止に十分に配慮します。

職員全員が、「感染しない」「感染させない」を強く意識し、危機管理意識を持って行動することで、子どもたち及び職員の安心安全を確保していきます。

園関係者に感染の疑われる方がある時は、本部、関係機関と密接に連携を図り、法人のフローを活用した適切な初動対応により、感染拡大を防ぐよう努めます。

(6) 遊具点検、屋内の安全・衛生点検、消防点検を行います。

(7) 毎月1日を交通安全指導日とし、交通安全指導に努めます。

(8) 職員に対して道路交通法と関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修等を通じて安全教育を実施します。また、全職員に運転前後のアルコール検査を実施し、酒気帯び運転を防止します。

5 防火・防災・救助体制

災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全確保、被害の軽減を図ります。

- (1) 消防計画に基づき、火災時の避難訓練を年5回及び毎月の消火訓練を行います。また、非常対策分担により、避難誘導を行い園児の安全確保に努めます。
- (2) 災害訓練（水害・地震・雪害）を行い、災害対応マニュアルを職員に徹底し、園児の安全確保に努めます。
- (3) 地区コミュニティセンター、地域公民館、警備保障会社との連携を図ります。
- (4) 外部からの不審者侵入防止のための措置や訓練など、不測の事態に備えて必要な対応を図ります。
- (5) 倉吉市防災無線、火災通報装置、AED等を活用し、防火、防災、救助体制の強化に努めます。

6 職員の資質向上と研修

保育園全体の保育の質の向上を図るため、職員一人ひとりが、保育実践や研修などを通じて保育の専門性などを高めるとともに、保育の内容に関する職員の共通理解を図り、協働性を高め、法人の職員の一員として接遇力の向上に努めます。

- (1) 外部研修への参加
保育についての園外研修、多面的な教養を身につけるための研修会へ参加し、講習を行います。（リモート研修への参加も含む）
- (2) 法人内部研修への参加
 - ① 三園の担当年齢別研修を行います。
 - ② 三園全職員合同研修を行います。
 - ③ 階層別研修、担当者研修、Web研修に参加します。
- (3) 施設内のOJT・職場研修の実施
 - ① 毎月1回全員参加の職員会、毎日のミーティングを通して、保育に対する共通理解を図ります。
 - ② 外部研修の報告会を実施するとともに、月に1回テーマを設けて勉強会を行います。
 - ③ 園内公開保育を行い、保育技術の向上に努めます。
 - ④ マーチングや合奏では、職員の指導に対する技術の向上に努め、子どもとともに、音楽の楽しさや演奏する喜びを味わえるように導きます。
 - ⑤ 絵画・造形活動では、職員の指導に対する技術の向上に努め、子ども達が自由にのびのびと創作することを楽しめるよう導きます。
 - ⑥ 月に1~2回、クラス運営や日々の保育の振り返りなど、様々なテーマでクラス単位、未満児、以上児別などねらいごとに分かれて意見交換や勉強会を行います。
- (4) 職員間の日常的な連携、報告・連絡・相談・確認の徹底
登園、降園時の保護者との何気ない会話や様子から、園児の健康状態や保護者の方の思いを汲み取り、ミーティングや職員会だけでなく、ミーティングノートを有効に活用することで職員同士日常的に伝え合って、共有できるようにします。事故や、トラブル、あるいは保護者からの苦情についても同様に、報告・連絡・相談を徹底し、全員で振り返り、学習することで、確認しあい、接遇力の向上につなげていきます。

7 SDGs の取組み

SDGs がめざす「誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」は、法人の基本理念につながるものです。保育場面においては、「子ども SDGs」などを活用し園児の理解促進を図り、掲げられている 17 の目標のうち以下の目標について、年間通して子どもたちと一緒に具体的に計画、実践していきます。

- (1) 目標 2 飢餓をゼロに…残食調べ、食育活動通じて食材の大切さを考えていきます。
- (2) 目標 4 質の高い教育をみんなに…常に新しい知識、スキルの獲得に努め、質の高い保育環境を構築します。
- (3) 目標 3 すべての人に健康と福祉を
- 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標 10 人や国の不平等をなくそう… 多様性について理解を深め、日常に潜んでいる不平等に気づきなくしていくよう努めます。
- (4) 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標 12 つくる責任つかう責任… 製作や表現活動時の材料の無駄をなくすよう工夫をし、電気、水道、コピー用紙等の節約に努めます。

8 職員の健康維持・増進の取組み

- (1) 毎朝子どもたちと一緒にラジオ体操を行います。
- (2) 休憩室に健康グッズや情報誌等を常設し、リラックスできる空間で手軽にストレッチ等を行います。

9 各種団体との連携と地域交流

- (1) 小学校との連携
 - ① 保小（保育園・小学校）連絡会、小学校参観日・発表会への参加、西中学校区同和教育研究協議会への参加、幼児教育研究会への参加、小鴨小学校での読み聞かせ等を行い、小学校との連携を図ります。
 - ② 年長児と小学生との様々な交流を行い、就学への期待を高めます。
- (2) 専門機関との連携
 - 支援の必要な子に対して相談・指導を行うため、鳥取県立中部療育園、倉吉市子ども家庭課、倉吉児童相談所、医師等との連携を図ります。
- (3) 地域交流
 - ① 小鴨地区文化祭等の地域行事に積極的に参加します。
 - ② ちまき作り・創立記念日・伝承遊び・菜園活動・ひまわり栽培・もちつきを通じて、民生児童委員との交流を図ります。
 - ③ 「コスモスプロジェクト」として、コスモスの種から苗を育て、地域の方や保護者に配り、一緒にコスモスを咲かせることで地域とのつながりを広めます。
 - ④ 福祉の里夏まつり、福祉の里文化祭に参加します。
 - ⑤ 部落解放文化祭に作品を出展します。
- (4) 園だよりの発行・配布
 - 発行回数：1回/月
 - 配布先：保護者、小学校、地区コミュニティセンター、地区民生児童委員

10 年間行事計画

別紙のとおり

月	行 事		会 議		職員研修		安 全・安 心	施設整備・点検
	施設内	施設外	施設会議	外部主催会議	法人・職場研修	外部主催研修		
4月	入園式、家庭訪問 陶芸教室 菖蒲相撲大会 ※のびいくデー ※異年齢交流 (年間通して)	小鴨地区敬老会発表	職員会 保護者会総会 保護者会三役会・役員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会	園内公開保育 保育環境検討会 (年間通して随時) テーマ別園内研修 (年間通して)		交通安全指導 災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
5月	小遠足 民生児童委員との交流	老人施設との交流 (回数については施設と相談)	職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会 鳥取県子ども家庭育み協会代議員会	ケース研究会 園内公開保育 新任職員研修	鳥取県保育所施設長研修会 乳児保育研修会 保育所職員等研修会	交通安全指導 災害訓練 身体測定・内科検診・歯科検診 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
6月	ちまき作り 保育参観日(以上児) 小遠足、プール開き プール開き 民生児童委員との交流	田植え・いもの苗植え	職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会 小鴨小学校地域学校委員会 中部防火委員会		主任保育士研修会 西中校区同和教育研究会	交通安全指導 災害訓練 防犯訓練 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
7月	創立記念日 七夕まつり お楽しみ保育	小学校とのプール交流	職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会 中部地区乳幼児保健協議会	ケース研究会 園内公開保育	幼稚園・保育所合同研修会	交通安全指導 災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
8月	プール納め		職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会		鳥取県保育所施設長研修会 部落解放倉吉市集会	交通安全指導・身体測定 災害訓練 細菌検査(調理・乳児・管理職) 消防設備点検	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
9月	小遠足 交通安全啓発活動 秋季大運動会(以上児) 運動会ごっこ(未満児)	福祉の里夏まつり	職員会 保護者会三役会・役員会 運動会実行委員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会	園内公開保育 三園職員研修		交通安全指導 災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週) 奉仕作業(保護者会)
10月	小遠足 お楽しみ発表会(施設と相談) 親子遠足 杉の子劇団観劇	稲刈り・芋ほり 小学校学習発表会鑑賞 小鴨地区文化祭参加 福祉の里文化祭	職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会 小鴨小学校地域学校委員会	ケース研究会 園内公開保育		交通安全指導・身体測定 災害訓練 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
11月	収穫祭(もちつき・豚汁作り) 民生児童委員との交流		職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会	園内公開保育 三園職員研修	西中校区同和教育研究会	交通安全指導 総合災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
12月	遊戯会(2歳児以上) クリスマス会 大掃除	みのりサングリーン作品展	職員会 保育・事務納め式	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会 小鴨小学校地域学校委員会	ケース研究会		交通安全指導 災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
1月	民生児童委員との交流 初釜 ロボ木一作り	解放文化祭作品展 福祉の里とんど祭り	保育・事務始め式 職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会	園内公開保育	倉吉市解文化祭	交通安全指導 災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
2月	節分集会 作品展 発表会		職員会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会 中部地区乳幼児保健協議会 小鴨小学校地域学校委員会	ケース研究会		交通安全指導・身体測定 災害訓練 細菌検査(調理・乳児・管理職) 消防設備点検	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週)
3月	お別れ遠足 お別れ茶会・卒園茶会 卒園式		職員会 保護者会総会 保護者会三役会・役員会 新旧引継ぎ会	倉吉市公立園長会 倉吉市給食委員会	ケース研究会 三園研究発表		交通安全指導 災害訓練 身体測定 細菌検査(調理・乳児・管理職)	管理場所点検(月末) 遊具点検(毎週) 奉仕作業(保護者会)

※年間を通して本物の芸術に触れる機会を設ける。